

モスクワにおける流鏝馬行事（説明書 2（1））に関する仕様書

1 日程及び開催都市（案）

- 2018年8月 6日（月）：成田発，モスクワ着
7日（火）：馬の調教，行事会場視察，関係者との打ち合わせ
8日（水）～9日（木）：馬の調教，流鏝馬及び礼法に関する講演
10日（金）：市内での武者行列及びフォトセッション
11日（土）：本行事
-開会式（約20分）
-流鏝馬（70分）
-ジギトフカ（コサックの民族的騎乗芸術）（50分）
-ロシア側騎手による弓引き体験，双方参加者の衣装交換体験
-三頭立て馬車によるデモンストレーション
12日（日）：市内における流鏝馬装束でのフォトセッション
13日（月）：帰国

2 事業概要

モスクワにおける日露政府共催の行事の枠組みにおいて，本邦から専門家（例えば，小笠原流弓馬礼法など）を招へいし，モスクワにおいてロシア国民に伝統的な流鏝馬を披露する。また，関連行事として市内適所における武者行列行進や流鏝馬及び礼法に関する講演を実施する。これを通じて，ロシア市民にとって関心の高い武道のみならず，日本の伝統文化に対する理解の深化が期待される。

3 委託内容

（1）流鏝馬

伝統的な様式での流鏝馬実施について豊富な経験を有する専門家（小笠原流など）を招へいし，モスクワ中央競馬場において開催予定の日露政府共催行事の日本側演目として流鏝馬を実施する。

（2）武者行列・フォトセッション

日露双方の参加者が武者の装束や武具を身につけ，市民が多数集まる市内適所（全ロシア博覧センター，赤の広場など）において武者姿でのフォトセッション及び行列行進を行い，もって流鏝馬本行事の広報とする他，これまで日本文化に特別な関心を有していなかった新規層を含む幅広い市民の日本文化理解の深化を図る。

（３）流鏝馬及び礼法に関する講演

市内の適当会場において、幅広い層の市民を対象に流鏝馬及び礼法に関する講演を行い、もって後日の流鏝馬行事の広報とする。また、流鏝馬本行事において流鏝馬の実演を見るだけでなく、講演を通じて理論面からも理解を深めることにより、一見するだけでは必ずしも理解が容易ではない日本の伝統文化についてより立体的に理解を深めることが期待できる。

以上